労働安全衛生速報

2026年 10月15日号
(1/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

ゼロ災でヨーシ　事故ないよー
TEL.0120-031404FAX.0120-457140
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207　FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com　https://www.anzen-pro.com/
※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

〔崩壊・倒壊〕　林道のり面の工事中に土砂崩れに巻き込まれ容体不明

2026.9.8

9時30分ごろ、静岡県川根本町の林道で、のり面の清掃作業をしていた元請会社作業員3人と下請け会社作業員5人が土砂崩れに合い、男性作業員1人が巻き込まれて取り残され、容体は不明。「法枠工」の工法でのり面を安定させる災害復旧工事の一環として進めていた。未明より断続的に雨が降り24時間の雨量は80㎜を記録した。林道付近の斜面が横約40m、高さ約50mにわたって崩落、二次災害の懸念や降雨の影響で救助が難航している。

〔墜落・転落〕　アパートの煙突の補修作業中に足場から墜落し死亡

2026.9.9

10時10分ごろ、北海道滝川市のアパートで、煙突補修作業をしていた女性作業員(74歳)が高さ8mの足場から墜落した。病院に搬送されたが約2時間後に死亡が確認された。当時3人で作業しており、墜落制止用器具を使用していなかった。詳しい原因は調査中。

〔労災隠し〕　労働災害発生場所を偽って報告した疑い

2026.9.10

2025年9月30日、愛知県豊田市の建築工事現場で、男性作業員(25歳)が、防水シート上で足を滑らせて転倒し、右腓骨骨折など約2か月間の休業を要するけがを負った。岡崎労働基準監督署は、発生場所を偽って報告した疑いで、建設業者と男性取締役(76歳)と女性取締役(62歳)を書類送検した。

〔書類送検〕　立入禁止区域を設けるなど危険を防止する措置を講じなかった疑い

2026.9.10

2025年2月19日、埼玉県所沢市の建設会社の事業場倉庫内で、垂直搬送機の解体、撤去作業中に、荷物を載せて上下移動する部分が高さ約4mから落下した。下で作業していた男性作業員(60歳代)が下敷きになり死亡した。(落下した部分は金属製で重量が220kg以上)所沢労働基準監督署は、物体が落下することで労働者に危険を及ぼすおそれがあるときに、立入禁止区域を設けるなど危険を防止する措置を講じなかった疑いで、建設会社と男性取締役(60歳代)を書類送検した。

〔挟まれ・巻き込まれ〕　モルタルミキサーに中指はさみ切断

2026.9.10

13時30分ごろ、愛知県春日井市の調整池築造工事現場で、男性作業員(20歳代)がモルタルミキサーの排水口の詰まりを取った後、ミキサーが動き出して指を挟まれた。中指を挟み、第一関節を切断した。詰まりを取る際、機械の電源を切らなかったのが原因とみられる。

労働安全衛生速報

2026年 10月15日号
(2/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

ゼロ災でヨーシ　事故ないよー
TEL.0120-031404FAX.0120-457140
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207　FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com　https://www.anzen-pro.com/
※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

〔飛来・落下〕　下水道工事で止水プラグが当たり左上腕骨折

2026.9.11

13時40分ごろ、静岡県伊東市のマンホール内で、破損した止水プラグが男性作業員(38歳)の左上腕に当たり骨折した。深さ2.95mのマンホール内で侵入水の止水作業中に、合流する下水道管に設置した止水プラグが何らかの圧力で破損した。

〔墜落・転落〕　資材運搬中に2階屋根から墜落して重傷

2026.9.12

13時20分ごろ、山形県山形市の住宅新築工事現場で、男性作業員(52歳)が資材の運搬作業中に2階の屋根から墜落し、鎖骨と腰の骨を折る重傷を負った。クレーンで屋根に揚げた木材を運んでいた際、ふらつき、約6.3m下の砂利の地面に墜落した。墜落制止用器具は着用していなかった。

〔おぼれ〕　雨漏り点検中におぼれて死亡

2026.9.15

13時50分ごろ、山形県小国町の文化センター建設工事現場で、雨漏りの点検をしていた男性作業員(63歳)が、水を張っていた屋上でおぼれているのが発見された。意識不明の状態で病院に救急搬送されたが、15時35分に死亡が確認された。1人で屋上に水を張り、雨漏りの点検をしていた。同僚が連絡が取れないため見に行ったところ、片腕が排水溝に吸い込まれ、顔が水に浸かった状態で発見された。水深は15㎝ほどだった。

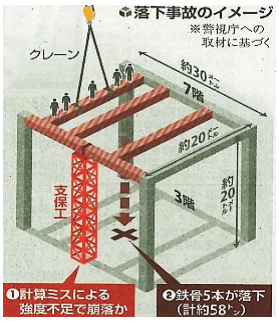
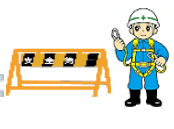
〔書類送検〕　バックホーの近くに作業員を立ち入らせ誘導員も配置しなかった疑い

2026.9.16

2025年3月18日、学校の解体工事現場で、男性作業員(21歳)がバックホーと溝の壁に挟まれ死亡した。福岡中央労働基準監督署は、作業員を危険な場所に立ち入らせ誘導員も配置しなかった疑いで、男性現場責任者の工事部長(37歳)を福岡地検に書類送検した。

〔書類送検〕　鉄骨落下は強度計算ミス

2026.9.18



2023年9月19日9時ごろ、東京都中央区のビル建設工事現場で、鉄骨が落下し、作業員5人が死傷した。大型クレーンで鉄骨をつり上げ、建物7階部分の骨組みに固定する作業を行っていた。5本目の鉄骨を仮留めし、クレーンのワイヤーを外したところ、支保工が崩壊して鉄骨計5本(長さ約14～18m、総重量約58t)が約20m下の3階部分に落下した。作業主任者は支保工の強度計算を行う際、鉄骨5本分の重量を考慮すべきところ、2本分しか計算に入れていなかった。下請の協力会社から「強度が足りない」との指摘も受け、上司に相談していたが、計算ミスに気付かなかった。鉄骨の上に乗っていた男性作業員(当時33歳と43歳)2人が死亡、他の作業員(当時20～40歳代)3人が重傷を負った。警視庁は、大手ゼネコンの男性作業主任者とその上司の2人を業務上過失致容疑死傷容疑で東京地検に書類送検した。